都市計画マスタープランについて 平端バイパスについて 出口 真一 議員

問 近年の人口減少や高齢化問題など、本市を取り巻く社会情勢が変化する中、本市の都市計画マスタープランの見直し時期及び内容について、市の考えを聞かせて頂きたい。また、平端バイパスの取組みとして奈良県から3つのルート案が示されたが、早期実現に向けた市の取組みについて、どのように考えているか教えて頂きたい。

答 都市計画マスタープランは、平成31～32年度に検討を行い、平成32年度末の完成を目指し、近鉄郡山駅周辺のまちづくりやリニア新駅を視野に入れた方向性を示していきたい。また、平端バイパスは、期成同盟と共に奈良県へ働きかけを行うとともに、ルートが決まり次第、奈良県との協議を進めていきたいと考えています。

ごみの減量化と再資源化について 林 浩史 議員

問 ごみ処理費は年間約11億円と増大しているので、ごみの減量化・再資源化が不可欠。そこで、当市の具体的施策をお聞きます。又、ごみ出し支援では、高齢者の声かけ収集、小さな子供を持つ親等、更なるごみ出し支援が必要であると考えますが、考えをお聞きます。

答 適正にごみ処理を行うには、ごみ袋の半透明・透明化を徹底する必要があります。これは火災や事故等の予防にもなり、分別を意識していただくことで、ごみの減量化・再資源化にもつながります。又、ごみ出し支援では、安否確認など高齢化社会に対応できるよう制度の拡充と子育て世代が安心して産み育てられる環境づくりを応援できるシステムを構築し、実施したいと考えております。

小学校のトイレ環境について 北野伊津子 議員

問 学校のトイレは、老朽化で使いにくい。1ブースに1つの洋式トイレはあるが、和式のスペースに洋式便器を設置してあって、狭くて大人では座れないような所もある。さらに男女の境界がパーテーション1枚、中にはカーテンで鍵のないトイレも存在する。災害時の避難所としても重要なトイレを全面的に改修していくべき。今後のトイレ改修はどうするのか。

答 学校のトイレは、学校や教育委員会が環境改善に努めていますが、老朽化による汚れや臭い、構造上の問題などがあります。小学校全てのトイレの全面改修には10億円以上の費用を要しますが、子どもたちが学校生活を送るうえでの大きな課題として向き合っていきます。

道路整備について

村田俊太郎 議員

問 運転中や散策中に、穴ぼこや表面がザラザラの路面に遭遇します。市民からの要望を受け修繕されていますが、要望件数と修繕箇所をお聞きすると共に、市民からの通報をもっとスムーズに行えるように、SNSを使った道路管理システムのアプリの導入を要望しますが、見解をお聞かせください。

答 平成28年度において、補修要望は28件、補修箇所は約200箇所でした。費用対効果の上で、穴ぼこ以外にも防犯灯の球切れ等を含めた道路管理に、SNSを使ったアプリが導入できるか、積極的に検討を頑張ってもらいます。

・他の質問項目：成年後見制度について

保育園の待機児童の解消について

上田 健二 議員

問 希望する保育園に入れない隠れ待機児童数は、70名から119名へと、この1年で49名増えている。待機児童解消には保育士の処遇改善が急がれるが、日額臨時職員の時給は968円で、奈良市1,070円、生駒市1,219円と差が大きく、賃金を上げるべきだがどうか。

答 市内公立・私立16保育園について、ご指摘のとおり待機児童が生じております。原因のひとつであります保育士不足の問題ですが、十分な確保が困難な現状にあります。今後も県内他市の賃金推移を見極めながら賃金の見直しを検討していき、併せて保育士の募集広報にもこれまで以上に努めてまいります。その他、待機児童縮減に向け保育士確保に有効な施策の実施に努めてまいります。

市長のやまと郡山城ホール使用をめぐる 公私混同について 丸谷 利一 議員

問 本年9月の城ホール主催の「金曜トークサロン」で上田市長が出演。サロンで市長は「(上田市政)16年間のふり返りと、これからの未来図」について語られた。これは明らかに上田市長の政治活動の一環である。各公民館に参加ビラが置かれ、会場使用料は免除、ビラの製作費や会場設営の職員人件費まで公費で賄うことは公私混同である。今後ともサロンに出演し政治活動するのか？

答 「金曜トークサロン」は、ゲスト講師として出演依頼がありお引き受けしました。ゲスト講師は毎回異なる方が務められています。依頼があった場合には出演し、感謝とおもてなしの気持ちで応えることは、市長として至極当たり前のことではないかと考えています。